

第4回 引佐南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 引佐南部中学校 2F会議室
- 3 出席委員 内山 哲哉、安戸 哲弘、石野 由美子、鈴木 千香子、鈴木 ゆかり、村松 茂樹
- 4 欠席委員 永田 琢也、稲垣 裕美
- 5 オブザーバー 戸田 誠
- 6 学 校 久保 賢治（校長）、河合 司（教頭）、荒谷 朋子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（学校・地域連携課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子
- 10 議長の選出

司会から、本日の議長の選出について、前回協議通り安戸委員にお願いする旨確認し、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）来年度学校運営基本方針の説明
- （2）生徒とのディスカッション
- （3）学校関係者評価
- （4）学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会の河合教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、会議に先立ち、前回会議録の確認をお願いした。

（1）来年度学校運営基本方針の説明

議長の指示により、校長から、資料に基づき来年度の学校経営方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 学校経営方針はそんなに変わるものではない。1年間校長をしてみて変わったところはあるか。ひよんどりなどで授業に関わらせてもらおうと、子供からの反応はまた来たくなると思えるほど素晴らしい。（安戸委員）
- 地域とのかかわりの部分を増やした。地域を学ぶ学習も今年度は計画にはないこともあったが、その部分を来年度は計画的に行う。伝統芸能を体験活動に組み込むようなこともしていきたい。ひよんどりは2年生の宿泊訓練、横尾歌舞伎の三味線を、音楽科の授業のひとつとしてなど考えている。（校長）
- ・ 現在と未来をつなぐとはどういった範囲を考えているか。（村松委員）
- 子ども自身の現在と将来を考えさせることとしている。（校長）
- ・ 来年度以降の生徒数の推移をみて、微減程度で極端に減ってしまっているわけではないようで少し安心する。（鈴木ゆ委員）
- 5年後くらいまでは3クラス制だと思うが、その後は2クラスになる可能性もある。（校長）
- ・ リーダーは育つがフォロワーシップが未成熟とはどういったことか。（石野委員）
- リーダーの周りで見ている子供たちがどう動くか、どのように考えていく必要があるか、後輩たちがどのように考えていくかという、自分が何をするか、ということそれぞれの立場で考えられるようになるよう育てていきたい。（校長）

- ・ 「つなぐ」から「ひろげる」という段階を踏みながら自分を客観的にみるという教育が成長につながるを感じる。(鈴木千委員)
- ・ 「健やかな心身」という言葉の柱で「自分の命は自分で守る」ということも大事だが、規則正しい生活習慣ということを入れたほうがいいと思った。(内山会長)

(2) 生徒とのディスカッション

会場をパソコン室に移し、2年生9名が3グループに分かれ、委員とディスカッションを行った。

【Aグループ：内山会長、村松委員、鈴木千委員、2年生3名】

【Bグループ：安戸委員、石野委員、2年生3名】

【Cグループ：鈴木千委員、戸田オブザーバー、2年生3名】

- 20年後、引佐町が活性化していくために必要なことは？
- 10年後、自分の夢や希望を実現していくために必要なことは？
- ・ 人口増加や地域の活性化、地域の特色を作っていきたいという話をしてくれた。大人としては、自分の夢と地域の活性化が結びついてくれるといいと思う。(Aグループ 内山会長)
- ・ 中学生の自分の未来について話をしたが、たくさん挑戦して、やりたいことが明確になっている子はその職業の方とたくさん話をしてみたいという話があった。今の勉強が将来につながっていく。(Bグループ 安戸委員)
- ・ 20年後の引佐の活性化について、引佐の豊かな自然をどう活かし、どうPRしていくか、SNS、特にInstagramやT i k T o kなどは中学生でも見るので、そういったものを活用していくといいと考えている。大人発信ではなく、大人としては子供目線でのPRが、生の声としていいと思う。校長先生から目的と目標は違うという話を聞いたということ踏まえて将来の目標のために頑張ってもらいたい。(Cグループ 戸田オブザーバー)
- ・ 生徒たちの考え方が、年齢が高く感じた。少子化などの問題点が出てくるとは思わなかった。(村松委員)
- ・ 自分の夢が明確になっている子もいれば、そうでない子もいるが、自分の考えをしっかりと発言できていた。(鈴木千委員)
- ・ 引佐のことを好きで、引佐のことを考えていることがよく分かった。(石野委員)
- ・ 引佐＝自然豊かなところという考えが定着して、SNSありきで考えるなど中学生らしいところはあるが、どうやったら観光地になるかなども考えて、自分の意見をはっきり言えているところが素晴らしい。(鈴木千委員)
- ・ 家庭でも引佐の良さを話してくれていると思う。(安戸委員)

(3) 学校関係者評価

学校評価アンケートについて教頭より説明を行い、各委員より以下の発言があった。

- ・ いじめの解決という判断は誰が行っているのか。継続しているというのは、どういう状況か。(戸田オブザーバー)
- 本人との面談や周囲からの聞き取りを行い、3か月を目安に職員間で話し合っている。問題が終了していない場合や、本人が大丈夫と言っても、周囲の状況などで見守りがまだ必要という場合は、継続して見守りを行っている。(校長)
- 校内アンケートも定期的に行っている。(教頭)
- ・ 家庭学習とは学校側から出ているものを指すのか(安戸委員)
- 学校側から出ているものも含めて指す。(教頭)

→ 生徒は個人の判断でできている・できていないを判断するが、職員は相対的に見て判断するため生徒の結果との乖離が起きている可能性がある。(校長)

(4) 学校運営協議会の自己評価

各委員が記入した自己評価をもとに熟議を行い、別紙のとおり評価をまとめた。各項目の評価選択を、集計を基準に会長の判断で決定した。

- ・ 情報発信については、自分としてはできなかったが、学校からの発信ということでできていたと思う。(安戸委員)

13 報告

(1) 夢育やらまいか事業CS加算分の報告(教頭より)

教頭より1年生の地域学習、2根の職場体験、3年の生き方学習において、講師の謝礼などに使わせていただいた旨報告した。

(2) 退任委員よりご挨拶

14 その他連絡事項

(1) 次回開催日時

① 令和8年5月7日(木) 13:30~

【熟議内容】新年度学校運営基本方針の説明、いじめ基本方針の説明、自己評価の項目検討、夢育やらまいか事業の説明

② 令和8年10月8日(木) 13:30~

【熟議内容】学年主任挨拶、生徒の様子等の紹介、キャリア体験について

③ 令和8年12月17日(木) 13:30~

【熟議内容】学校評価アンケートの結果について、生徒とのディスカッション

④ 令和9年2月19日(金) 13:30~

【熟議内容】授業参観、来年度学校運営基本方針の説明、学校関係者評価、学校運営協議会の自己評価

(2) その他

村松委員より、引佐地区連合自治会からの表彰で、引佐南部中のバレエ部が対象となった旨報告があった。